

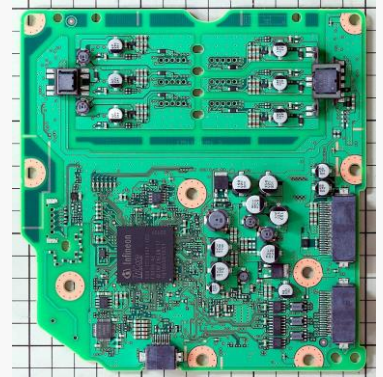
インバータ: BluE Nexus (トヨタ自動車 bZ4X (2022)) 基板回路解析 レポート



引用: <https://toyota.jp/bZ4X> (WEB情報より)



搭載フロントインバーター外観



インバーター制御 ゲート駆動基板

概要

- ・トヨタのbZシリーズ第一弾のEVで、パートナーのスバルと共同開発したSUVタイプのEV 2022年5月に発売。
- ・航続距離はFWDで559km(4WDは540km) 車両価格は600万(FWD)、650万(4WD)
- ・搭載のeAxelは、BluE Nexusとアイシン、デンソーの3社開発
- ・今回は インバータ制御、ゲート駆動を行っている基板回路解析レポートとなります。

製品特徴

- ・対象車両 (YEAM15) 四輪駆動
- ・eAxel: BluE Nexus 製、減速機: アイシン製、インバータ: デンソー製
- ・インバータ諸元: 150kW(フロント:80kW, リア:80kW)
- ・搭載IGBTパワーカード (デンソー製) 両面冷却
- ・電池容量: 71.4kWh/201Ah (Liイオン電池)

解析内容

- ・インバーター部分の分解工程
- ・インバータ制御、ゲート駆動基板の搭載部品リスト
- ・インバータ制御、ゲート駆動基板のブロック図、回路図

レポート価格

価格: 210万円(税別)

12月中旬 リリース予定